



# 平成29年12月期 第3四半期決算短信(日本基準)(非連結)

平成29年10月31日

上場会社名 株式会社 ユニカフェ  
 コード番号 2597 URL <http://www.unicafe.com>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岩田 斉

問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼執行役員管理本部長兼財務  
 経理部長 (氏名) 倉田 祐一

TEL 03-5400-5444

四半期報告書提出予定日 平成29年11月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成29年12月期第3四半期の業績(平成29年1月1日～平成29年9月30日)

### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年12月期第3四半期	7,718		212		222		191	
28年12月期第3四半期								

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年12月期第3四半期	15.80	
28年12月期第3四半期		

当社は、平成28年12月期より決算期を毎年3月31日から12月31日に変更しております。これに伴い、決算期変更の経過期間となる平成28年12月期は9ヶ月決算となっており、平成28年12月期第3四半期財務諸表を作成していないため、平成28年12月期第3四半期の経営成績(累計)及び当第3四半期(平成29年1月1日から平成29年9月30日)の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

### (2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	%	
29年12月期第3四半期	9,565		6,614		69.1	
28年12月期	10,317		6,453		62.5	

(参考)自己資本 29年12月期第3四半期 6,614百万円 28年12月期 6,453百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年12月期		0.00		8.00	8.00
29年12月期		0.00			
29年12月期(予想)				8.00	8.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成29年12月期の業績予想(平成29年1月1日～平成29年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,887		301		311		264		19.92

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

平成28年12月期は、決算期変更により9ヶ月決算となっておりますので、平成29年12月期の業績予想の通期の前年増減率については記載しておりません。

## 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年12月期3Q	13,869,200 株	28年12月期	13,869,200 株
期末自己株式数	29年12月期3Q	1,728,830 株	28年12月期	1,728,650 株
期中平均株式数(四半期累計)	29年12月期3Q	12,140,422 株	28年12月期3Q	株

当社は、平成28年12月期より決算期を毎年3月31日から12月31日に変更しております。これに伴い、平成28年12月期第3四半期財務諸表を作成していないため、平成28年12月期第3四半期の期中平均株式数(四半期累計)については記載しておりません。

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)の3ページ「(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
第3四半期累計期間 .....	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間(平成29年1月1日から平成29年9月30日までの9ヶ月間)における当社を取り巻く環境は、企業収益や雇用情勢の改善に伴い個人消費は底堅く推移し緩やかな回復基調となりましたが、新興国の景気減速、米国政権の政策運営や北朝鮮情勢に関する不透明感による世界情勢の不安定感など景気を下押しするリスクがあり、景気の先行きに不透明感が増しております。

このような状況の中、コーヒー業界につきましては、コンビニエンスストアのカウンターコーヒーで顕在化したコーヒーのマグネット効果により、あらゆる業態・業種でコーヒーが集客力を高める戦略商品であると注目され、その提供場所が広がり新たなコーヒー経済圏を生み出しております。また、サード・ウェーブと呼ばれるスペシャルティコーヒーの流行に伴い、大手カフェチェーン、郊外型高級カフェを営むカフェ業態が店舗数を伸ばすなどコーヒー業界に大きな変化が起きております。さらに一杯抽出型マシンの普及拡大、ドリップバッグの市場成長などもコーヒー業界の成長を促しております。

当社の業績に多大な影響を及ぼすコーヒー生豆相場につきましては、生産国での安定供給が見込まれるなど需要に対して比較的潤沢に生豆が供給され、低位に安定したものとなりました。為替相場については東アジアの地政学リスクの高まりなどへの懸念から、先行きは不透明な状況です。

このような経営環境の下、当社は、「コーヒーをコアに人と環境にやさしい企業を目指す」の企業理念の下、収益構造の改善と内部統制の強化に注力するとともに、「飲むことを楽しむ」というコーヒーの新たな価値「Fun to Drink」をテーマとし「その上のコーヒー」を常に追い続け、チャレンジを続けております。

当第3四半期累計期間につきましては、国内において主力の工業用コーヒーの取扱数量の増加によるシェアの拡大に注力しました。業務用コーヒー・家庭用コーヒーの分野におきましては、OEM製品、NB・PB製品の販売に注力し、新しいコーヒーの価値「Fun to Drink」を提供するバリュープロバイダーとなるべく、新規取引先の開拓と既存取引先に対する新製品提案を推進しました。

その結果、工業用コーヒーにつきましては、ボトル缶の原料供給を中心とした取扱数量拡大に注力しましたが、当第3四半期累計期間の取扱数量は、前年同一期間(平成28年1月1日から同年9月30日まで)を下回りました。

業務用コーヒーにつきましては、主要取引先のカフェチェーンなどにおける取扱数量及びUCCグループ間との取扱数量が好調に推移しましたが、一部主要取引先における取扱数量減少を補えず、当第3四半期累計期間におきましては、前年同一期間(平成28年1月1日から同年9月30日まで)を下回りました。

家庭用コーヒーにつきましては、NB・PB製品を中心に主要取引先において一杯抽出型ドリップバッグなどの小型包装製品の販売に注力、また大手流通業PB製品の製造受託数量の拡大を目指した結果、当第3四半期累計期間の取扱数量は、前年同一期間(平成28年1月1日から同年9月30日まで)とほぼ前年通りとなりました。

以上の取り組みによって当事業年度の売上高は77億18百万円となりました。

利益面では、製造経費及び販売費及び一般管理費を抑制した結果、営業利益は2億12百万円、経常利益は2億22百万円、四半期純利益は1億91百万円となりました。

なお、当社は前事業年度から決算期(事業年度の末日)を3月31日から12月31日に変更しております。これに伴い平成28年12月期第3四半期財務諸表を作成していないため、前年同四半期累計期間との比較増減を記載しておりません。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ① 資産の部

当第3四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末比7億52百万円減少し、95億65百万円となりました。増減の内訳は、流動資産が7億75百万円減少いたしました。その主な要因は、現金及び預金が1億82百万円及び売掛金が3億52百万円、原材料及び貯蔵品が2億69百万円減少したことによります。また、固定資産が23百万円増加いたしました。その主な要因は、有形固定資産が94百万円減少しましたが、投資その他の資産が1億19百万円増加したことによります。

#### ② 負債の部

当第3四半期会計期間末の負債は、前事業年度末比9億13百万円減少し、29億51百万円となりました。増減の内訳は、流動負債が9億42百万円減少いたしました。その主な要因は、賞与引当金が24百万円増加しましたが、買掛金が8億83百万円、未払金60百万円及び未払費用が26百万円減少したことによります。また、固定負債が29百万円増加いたしました。

#### ③ 純資産の部

当第3四半期会計期間末の純資産は、66億14百万円となりました。この結果、当第3四半期会計期間末の自己資本比率は69.1%となり、前事業年度末比6.6ポイント上昇しております。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、平成29年2月14日公表の業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年12月31日)	当第3四半期会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,259,038	2,076,219
受取手形	41,990	44,262
売掛金	2,158,789	1,805,908
商品及び製品	181,520	201,732
仕掛品	8,557	26,080
原材料及び貯蔵品	586,865	317,205
前払費用	18,657	25,043
繰延税金資産	75,875	75,875
短期貸付金	500,000	500,000
未収入金	12,685	1,390
その他	11,035	6,137
貸倒引当金	△309	△256
流動資産合計	5,854,707	5,079,599
固定資産		
有形固定資産		
建物	3,730,428	3,739,150
減価償却累計額	△1,766,915	△1,837,355
建物(純額)	1,963,513	1,901,794
構築物	125,350	125,350
減価償却累計額	△77,611	△82,551
構築物(純額)	47,738	42,798
機械及び装置	3,326,253	3,387,049
減価償却累計額	△2,825,347	△2,911,965
機械及び装置(純額)	500,906	475,083
車両運搬具	28,289	28,289
減価償却累計額	△27,417	△27,919
車両運搬具(純額)	871	369
工具、器具及び備品	183,751	187,128
減価償却累計額	△156,503	△165,438
工具、器具及び備品(純額)	27,248	21,689
土地	1,639,318	1,639,318
建設仮勘定	1,080	4,740
有形固定資産合計	4,180,675	4,085,794
無形固定資産		
ソフトウェア	13,803	12,378
その他	2,519	2,519
無形固定資産合計	16,322	14,897
投資その他の資産		
投資有価証券	236,643	333,201
出資金	1,060	1,060
その他	28,234	51,807
貸倒引当金	—	△717
投資その他の資産合計	265,937	385,351
固定資産合計	4,462,936	4,486,043
資産合計	10,317,644	9,565,642

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年12月31日)	当第3四半期会計期間 (平成29年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	3,350,654	2,467,381
未払金	287,941	227,822
未払費用	46,379	20,023
未払法人税等	100,396	62,570
未払消費税等	—	42,939
預り金	17,712	15,541
賞与引当金	12,834	37,121
流動負債合計	3,815,918	2,873,400
固定負債		
繰延税金負債	31,687	61,082
その他	16,716	16,716
固定負債合計	48,403	77,798
負債合計	3,864,321	2,951,199
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,216,500	4,216,500
資本剰余金	1,020,799	1,020,799
利益剰余金	2,808,535	2,903,228
自己株式	△1,664,309	△1,664,487
株主資本合計	6,381,524	6,476,040
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	71,797	138,402
評価・換算差額等合計	71,797	138,402
純資産合計	6,453,322	6,614,442
負債純資産合計	10,317,644	9,565,642

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)
売上高	7,718,253
売上原価	6,400,532
売上総利益	1,317,720
販売費及び一般管理費	1,105,180
営業利益	212,540
営業外収益	
受取利息	453
受取配当金	6,547
その他	10,943
営業外収益合計	17,944
営業外費用	
債務保証損失	7,916
その他	485
営業外費用合計	8,402
経常利益	222,082
特別損失	
固定資産除却損	668
特別損失合計	668
税引前四半期純利益	221,413
法人税、住民税及び事業税	29,595
法人税等合計	29,595
四半期純利益	191,817



(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。